

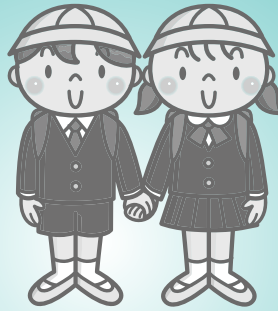
子どもの安全を守る取組み

学校

- 《集団登下校の実施》
- 《危機管理マニュアルの作成》
- 《警報ベルや警報ブザーなどの設置》
- 《防犯灯の設置》
- 《さすまた等の非常時使用器具の設置》
- 《来校者への名札着用の徹底》
- 《警察による防犯教室の開催》
- 《通学路マップの作成・関係者への周知》
- 《防犯ブザーの携行》など

警察

- 《登下校時におけるパトロール活動の強化》
- 《メールマガジンや携帯メール等を活用した効果的な情報発信活動》
- 《学校における防犯講習会の開催》など



地域

《見守り活動》

- ・有帆校区見守り隊（有帆小学校区）
- ・泊っ子まもり隊（高泊小学校区）
- ・下校見守りボランティア（須恵小学校区）
- ・赤崎ガーディアン（赤崎小学校区）
- ・本山校区子ども安全対策協議会（本山小学校区）
- ・出合校区安全委員会（出合小学校区）
- ・下村東地域安全推進隊（下村東自治会）
- ・小野田・高千帆小学校区では4月中に団体設立予定
- ・埴生小学校区では車用の防犯ステッカーを作製

※その他の小学校区においても見守り活動実施を市教育委員会が依頼

地域

《子ども110番の家》

（数字は校区内の設置戸数）

有帆小学校区	17
高千帆小学校区	51
高泊小学校区	50
小野田小学校区	20
須恵小学校区	25
赤崎小学校区	66
本山小学校区	22
厚狭小学校区	94
厚陽小学校区	21
出合小学校区	17
埴生小学校区	27
津布田小学校区	9

※小野田地区は2006年2月現在
山陽地区は2005年6月現在

「地域の力が今こそ必要です」



小野田警察署
生活安全課長

藤本浩治さん

市内では、現在多数の子ども見守り隊が設立されています。警察としてもたいへん心強く、これまで以上にこうしたボランティアの方に対し、安全・安心に関する情報をタイムリーに発信していき、ボランティアの方々との連携を密に図っていかねばならないと考えています。

ボランティアの方々の声に共通しているのは、「長続きする活動をやっということでした。形にとらわれず、それぞれの生活スタイルに合わせて子どもたちの安全・安心を末長く見守っていただきたい」と思います。こうした活動は、子どもた

ちの安全・安心だけでなく、地域の犯罪防止力にも結びついていくはずですよ。

警察でも、登下校時の通学路周辺におけるパトロールをはじめ、携帯メールやメールマガジン等による情報発信活動、さらには防犯講習会の開催等により、子どもの安全・安心の確保に努めていますが、今後は見守り隊をはじめとした「地域の力」がさらに必要となっていくことでしょう。

みなさんの力と意識が子どもたちの安全・安心の確保につながります。ご協力をお願いいたします。